

## 追悼・松谷みよ子氏 「小さな国の枠から抜け出して」

松谷みよ子さんは日本を代表する児童文学作家として活躍し、今年2月28日に89歳でお亡くなりになりました。1926年(大正15年)東京に生まれ、東洋高等女学校を卒業後、会社に勤めながら童話を書き始めました。戦時中に疎開先の長野県で作家・坪田譲治氏に出会い、師事。数多くの作品を生み出し、今も子どもから大人まで幅広い年代の方から愛されています。民話研究家の瀬川拓男氏と結婚後は、人形劇団「太郎座」を共同で立ち上げました。ともに民話の研究も始め、全国を廻り、語り手の話を実際に聴き、昔話を採集しました。採集した民話は『現代民話考』に収められています。松谷氏は、小さな国の枠から抜け出して、物を考えなければならない現代の私たちだからこそ、昔話に光を当て、次の世代に渡し、世界の子どもへの贈り物にしなければならないと語っています。

民話を再創造した『龍の子太郎』は、国際アンデルセン賞優良賞を受賞。『ちいさいモモちゃん』で野間児童文芸賞を受賞しました。以後出版されたモモちゃんシリーズは、600万部を超えるロングセラーとなっています。シリーズ3作目の『モモちゃんとアカネちゃん』では、それまで児童文学で取り上げることがタブーとされてきた両親の離婚を、子どもにも分かる比喻で表現しています。童心社から出版された赤ちゃんの本シリーズの『いないいないばあ』など、記憶に残っている方も多いのではないでしょうか。

松谷さんが残してくださったたくさんの作品が、ずっと先まで読み継がれてほしいと願ってやみません。



『いない いない ばあ』

松谷 みよ子/文  
瀬川 康男/絵  
童心社  
赤ちゃん絵本 Eセ

赤ちゃんに「いないいないばあ」と語りかけながら一緒に読むことで、大人も赤ちゃんも笑顔になり、コミュニケーションが取れる絵本。発行部数も2013年現在で日本一の535万部。



『ちいさいモモちゃん』

松谷 みよ子/著  
菊池 貞雄/絵  
講談社  
児童 913マ

モモちゃんが生まれてから3歳になるまでの物語。働きながら懸命に子どもを育てるママの姿には、著者自身の姿が反映されている。最終巻『アカネちゃんのなみだの海』で完結するまで30年続いたシリーズ第一作目。



『龍の子太郎』

松谷 みよ子/著  
田代 三善/絵  
講談社  
児童特集 913マ

「おかあさん、龍の子太郎がきたよ。顔を見せてくろー。」龍になった母をたずねて、龍の子太郎は長く苦しい旅に。山こえ谷こえ大冒険のすえにめぐりあった母は…。雄大なスケールで日本の民話を再創造した古典的名作。

### <図書館カレンダー>

※毎週**火曜日**は休館日です。

※開館時間

10:00~20:00

※6/11(木)~6/16(火)

は蔵書点検のため  
休館します。



### 5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

# 2015年「本屋大賞」決定！

## 1位



上橋 菜穂子/著 KADOKAWA Y913.6 ウエ

本屋大賞の発表が4月7日(火)に行なわれました。本屋大賞とは、過去1年間に刊行された日本の小説のなかで、全国の書店員が「売りたい!」と思った本を投票で決定する賞のことです。

今年、堂々の1位に輝いたのは、上橋菜穂子さん著の『鹿の王』です。この本は、架空の世界を舞台に、謎の伝染病を防ごうとする人々の戦いを壮大なスケールで描いたものです。上橋さんは、『精霊の守り人』などの「守り人」シリーズや『獣の奏者』で人気を博し、昨年には児童文学のノーベル賞ともいわれる国際アンデルセン賞作家賞も受賞されました。今後の活躍がますます期待されます。

このほかにも、魅力的な作品がランクインしています。連休のあるこの5月に、思いっきり読書にふけるのもいいかもしれませんね。

- 2位 『サラバ! 上・下』(西 加奈子/著 小学館 F913.6 ニシ)
- 3位 『ハケンアニメ!』(辻村 深月/著 マガジンハウス Y913.6 ツジ)
- 4位 『本屋さんのダイアナ』(柚木 麻子/著 新潮社 Y913.6 ユズ)
- 5位 『土漠の花』(月村 了衛/著 幻冬舎 F913.6 ツキ)
- 6位 『怒り 上・下』(吉田 修一/著 中央公論新社 F913.6 ヨシ)
- 7位 『満願』(米澤 穂信/著 新潮社 F913.6 ヨネ)
- 8位 『キャプテンサンダーボルト』(阿部 和重・伊坂 幸太郎/著 文藝春秋 F913.6 アベ)
- 9位 『アイネクライネナハトムジーク』(伊坂 幸太郎/著 幻冬舎 Y913.6 イサ)
- 10位 『億男』(川村 元気/著 マガジンハウス F913.6 カワ)

## 「としょかんでシネマ」

毎回ご好評いただいている図書館での上映会。4月からはより多くの方に楽しんでいただけるように、これまでより上映回数を増やし、月4回、2作品を曜日不定期で昼の部(14時開演)・夜の部(18時開演)に分けて実施することになりました。

変更後初となる4月の上映会は、2日(木)・17日(金)に「麗しのサブリナ」、8日(水)・27日(月)に「パリの恋人」を上映しました。各日ともたくさんの方にご来場いただき、「上映回数が増えて嬉しい」「今後も楽しい上映会の開催を希望します」といったお声もいただきました。5月も7日(木)・15日(金)に「シャーロットのおくりもの」、9日(土)・27日(水)に「白い船」を予定しています。今後とも楽しんでいただける上映会の開催に努めていきたいと思っております。皆さまのお越しをお待ちしています。



# ブック・バトン

毎月2名の図書館員がおすすめの本を紹介します

今月のテーマは

## おくりもの



### 絵本のおくりもの

絵本は、子どもへのかけがえのないおくりものです。私も子どもにたくさんの絵本を読んできましたが、その中でも子どもの本の作家であり翻訳家でもある渡辺茂男さんが手がけた作品はたしかな絵本、子どもの心に届く絵本だと思います。『心に緑の種をまく 絵本のたのしみ』は、ご自身のお子さんたちのこと、出会った本、翻訳した作品を紹介するエッセイです。どの作品も魅力的に語られているので、紹介されている絵本1冊1冊を読みたくくなります。子育て中の方には特におすすめです。

絵本は短い分だけ“ことば”の魅力が詰まっており、子どもだけでなく大人も絵や物語を楽しむことができます。『絵本の作家たちⅠ～Ⅳ』では、著名な日本の絵本作家たちが紹介されています。作家の素顔や仕事場を覗くことで、作品をより身近に感じられます。著作リストも掲載されているので、絵本を選ぶ時の参考にもなります。好きな絵本を図書館で借りるのも、誰かのためのおくりものとして選んでみるのもいいですね。(司書 南波 ゆかり)



#### 『心に緑の種をまく』

渡辺 茂男/著  
新潮社  
児童研究 019.5 W



#### 『絵本の作家たち』(全4巻)

平凡社  
児童研究 726.6 E

### 心を贈る

春は出会いと別れの季節で、大切な方へおくりものをされた方もいらっしゃるかと思います。

『ゆうびんやさんおねがいね』は、心を贈るお話です。遠く離れたところに住んでいるおばあちゃんの誕生日に、「手紙」と「ぎゅ(ぎゅっと抱きしめる)」を届けたいと願うこぶたくん。ゆうびんやさん達は、その思いをおばあちゃんのもとへ届けます。関わったみんなが幸せになっていく、とても心が温まる話です。

『人生はニャンとかなる!』・『人生はワンチャンス!』は、1ページずつ犬や猫の癒される写真とともに、それにぴったりの言葉と偉人たちの名言やエピソードが綴られています。気に入った言葉を見つけて、あなたの“心”を贈ってみてはいかがでしょうか。(司書 渡辺 英子)



#### 『ゆうびんやさんおねがいね』

サンドラ・ホーニング/文  
バレリー・ゴルバチョフ/絵  
なががわ ちひろ/訳  
徳間書店  
外国絵本 Eゴ



#### 『人生はニャンとかなる!』



#### 『人生はワンチャンス!』

2冊とも、  
水野 敬也/著  
長沼 直樹/著  
文響社  
K159.2 ミ

# 蔵書点検による休館と、それに伴う貸出期間変更のお知らせ



下記の期間を蔵書点検のため休館させていただきます。  
ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇休館期間：6月11日(木)～6月16日(火)

◇貸出期間：5月28日(木)～6月10日(水)に全ての図書館・図書室から貸し出される資料について、  
貸出期間を3週間とします。

◇休館中の資料返却について

本：正面玄関右側の返却ポストに1冊ずつ投入してください。

長崎市内の公民館・ふれあいセンター図書室でもお返しいただけますが、  
返却処理を行いませんので、返却された冊数分の追加貸出はできません。ご了承ください。

CD・DVD・紙芝居：開館後(6月17日以降)にカウンターで直接返却してください。

◇予約の対応について

期間中、市立図書館に在庫する資料は、インターネットや図書室等での予約に対応できません。

◇施設(ホール・会議室ほか)利用について

予約・利用申請の手続きなど、施設に係る全ての利用を休止させていただきます。

## 図書貸出券には有効期限があります

長崎市立図書館では、登録内容の確認のために3年に一度更新手続きを行っています。

- 登録された日以降の誕生日から3年2ヵ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヵ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヵ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヵ月間に行ってください。
- 更新手続きには申請書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

## 予約ランキング

※予約が集中している本は数ヵ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L. スコット	大和書房	292	6	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	205
2	サラバ!(上)	西 加奈子	小学館	285	7	悲嘆の門(上)	宮部 みゆき	毎日新聞社	191
3	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	233	8	火花	又吉 直樹	文藝春秋	175
4	満願	米澤 穂信	新潮社	229	9	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	幻冬舎	171
5	鹿の王(上)	上橋 菜穂子	KADOKAWA	224	10	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	164

(2015年4月16日現在)

編集・発行: 長崎市立図書館 〒850-0032 長崎市興善町1-1 (TEL) 095-829-4946 (FAX) 095-829-4948